

なのhana だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. 89

October 2017



栗ヶ沢デイホーム
「スイカ割り大会」

INDEX

1
2

トレンドTOPIX 潮流
（ニューズウォッチ）

介護医療院が与える
介護保険財政の影響は

フォーカス「老健ちば」
事務長会報告

3
4

〈特集〉

市川ゆうゆう

「R4システムを活用し、
多職種間でケアの質の向上を目指す」



5
6

〈研修会報告〉

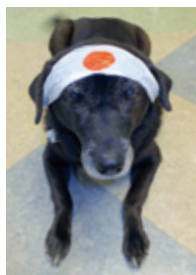
自由気ままに

ペーパーブ로그

武士道と大道

ほうゆう苑

施設長 吉井功



7

〈なのhanaスマイル〉施設の笑顔紹介

●はさま徳洲苑

●辰巳ナーシング・ヴィラ

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

平成29年10月23日 発行

●発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

介護医療院が与える介護保険財政の影響は

医療療養病床転換は総量規制の対象外に

求めた。

来年度、介護保険の新たな施設サービスとして介護医療院が創設される。厚生労働省は8月10日、介護療養病床、医療療養病床から、介護医療院などに転換する場合は総量規制の対象にならないと各自治体に通知した。医療保険適用の医療療養病床からの転換が介護保険財政を膨張させかねないと懸念する声も上がっている。

の必要定員総数に含まないため、「総量規制は基本的に生じないものと考えられる」と記載された。計画に関わらず、自治体は転換を拒否できない。療養病床だけでなく、2006年7月以降に療養病床から転換した老健も総量規制対象から外れる。一方、介護医療院を新設する場合は、他の施設サービスなどと同様に総量規制の対象となるとした。

療養病床、転換老健の転換必要定員に含めず

今年5月の改正介護保険法の成立により、日常的な医学管理や看取り・ターミナルケアなどの医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた、介護医療院が来年度に新設されることに決まった。慢性期の医療・介護のニーズを持つ高齢者を対象とする。併せて、今年度末に廃止が予定されていた介護療養病床の廃止期限は6年間再延長された。

厚生省が8月10日に発出した事務連絡では、療養病床の転換分は、いわゆる総量規制の対象外となることが示された。介護療養病床、医療療養病床の転換による定員の増加分は、第7期計画で

「医療保険の病床が介護保険に流れてくる」

介護療養病床と介護医療院について審議された8月4日の社会保障審議会介護給付費分科会では、「介護療養病床から介護医療院への転換は介護保険の中での話だが、医療療養病床からの転換は介護保険のサービス料が増加し、保険料や財政負担が増大する」とし、医療保険適用の病床が介護保険に流れてくることで、介護保険財政や保険料負担が膨らむことを危惧する声も聞かれた。東憲太郎委員（全国老人保健施設協会会長）も同様の懸念を示し、医療療養病床よりも介護療養病床の転換を優先し、財政の激変を招かないよう

同日の給付費分科会では、「円滑な転換を図るためには魅力ある選択肢でなければならぬ。また、建て替えまでは既存の設備で移行できるなどの経過措置が必要」、「介護医療院(Ⅱ)の基準は老健施設相当以上とされているが、求められている役割を果たすには老健プラスアルファが必要。介護療養型老人保健施設並みを最低基準とすべき。また看護、介護職員は医療機関との兼務を認めるべきではない」、「現行の報酬をただスライドするのではなく、重篤な疾患などを対象とする(Ⅰ)と比較的安定した(Ⅱ)でメリハリをつけるべき。円滑な転換が必要だが、税制上の優遇や改修費に地域医療介護総合確保基金を活用するなど、報酬以外の方策もある」などの意見が委員より挙げられた。

※介護医療院(Ⅰ)：重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者等
介護医療院(Ⅱ)：(Ⅰ)と比べて、容態は比較的安定した者

フォーカス 老健 ちば

事務長会報告



(株)スター
コンサルティング
グループ
代表取締役
経営コンサルタント
糠谷和弘氏

平成29年9月6日(水)京葉銀行千

葉みなと本部にて、53施設57名の参加者の下、「平成29年度事務長会」が開催されました。今回は講師に、(株)スターコンサルティンググループ代表取締役 経営コンサルタント糠谷和弘氏をお迎えし、「最強の組織をつくる採用・教育・定着『黄金ルール』セミナー」と題し、①介護保険法改正と外部環境の変化、②採用・定着がうまくいかない理由、③現場でできる採用・定着・教育改善のポイント、④

明日からやっていたきたいこと等、4つの項目で講義していただきました。まず介護保険法改正と外部環境の変化についてですが、昨年は介護事業の倒産件数が過去最多という現実

を踏まえ、変化に対応する力が求められる。そのためには法改正対策チームの立ち上げ、セミナー、ブログ、メルマガ等で情報収集し、資料の読み合わせを行い対策を立てる。今の内から稼働率を上げ、収益性の向上が重要とのことでした。

採用に関しては、誰に(ターゲットの明確化)、何を(入社メリットの最大化)、どのように(伝え方の工夫)が必要。たみやみくもに多職種同時に給与だけ掲載して募集するのはNG。スマホ対応のホームページの充実は必須。

職員定着に関しては、足し算の経営から引き算の経営が必要。人が足りないからと言って安易に補充するのではなく、業務に優先順位をつけ、断つこと(やめること)を決める。職員教育は、場当たり的な指導ではなく、自動車の教習所のように、習得しやすい順番で、時間をかけて段階的に教育する仕組み作りが大事であることを学びました。

セミナー最後のまとめの際、72時間ルール「セミナーで学んだことを3日以内にひとつでも実行してください」という糠谷氏の言葉が印象的でした。講義の後、ブロックごとに集まり他施設事務長と情報交換を行いました。今後、事務長会企画を各ブロック持ち回りで担当することとなり、次回は、東葛南部ブロックが担当することとなりました。

第28回
全国介護老人保健施設大会
愛媛 in 松山
表彰の報告



平成29年度公益社団法人
全国老人保健施設協会表彰

個人表彰

介護老人保健施設 シルバーケアセンター
村上信乃氏

施設表彰 全老健加入年数が20年以上に達した者

介護老人保健施設 ヴィラ大森

介護老人保健施設 姉ヶ崎ケアセンター

介護老人保健施設 野田ライフケアセンター

第27回全国老人保健施設
in 大阪 演題発表

優秀奨励賞

老人保健施設

佐倉ホワイエ

佐田龍吾

「こころが動けばからだも動く！」

奨励賞

介護老人保健施設

フェルマー夕船橋

「利用者になりきって

生活体験による介護者の気づき」

介護老人保健施設

北柏ナーシングセンター

「『最期は家に帰りたい』

ターミナルでの多職種との取り組み」



市川ゆうゆう

R4システムを活用し、
多職種間でケアの質の向上を目指す



管理者
折茂賢一郎氏



市川ゆうゆうは、市川市北部の自然豊かな田園地帯に位置する市川市保健医療福祉センター内にある老健。同じ建物内には市川市リハビリテーション病院があるという恵まれた環境の施設です。

施設の前身は自治体が平成10年に開設した「老健ゆうゆう」。平成28年4月に公益社団法人地域医療振興協会が経営移譲を受け、全老健の副会長である折茂賢一郎氏が管理者に就任。「市川ゆうゆう」として新たに開設されました。開設時に紙媒体のカルテから



チームケアの様子

R4システムとは、全老健により「老健でのケアを老健に適ったものにするべく」開発された、利用者評価と情報共有のためのシステム。開発チームのメンバーでもある管理者の折茂氏に、R4システムについてお話を伺いました。

R4システムの 導入メリット

電子カルテへ移行し、同時にR4システムを導入。新たな情報共有方法に取り組んで1年半が経過した、市川ゆうゆうを取材しました。

「R4システムのメリットは、ICFステージングにより利用者の機能を客観的に評価できる事、情報を共有する事で多職種が円滑に連携し業務を行える事、ケアプランに基づいたチームケアを効率よく行える事です。イラストを選択するなどの簡単な操作で誰でも評価を行う事ができるのが特徴で、このシステムの情報に基づいて、各専門職が利用者のADL向上の為にすべき次のステージのケアをイメージする事ができます。多職種間でケアの目的を統一する事で、それぞれの専門職のケアの質の向上に繋げる。そこが従来の、出来ない事を支援する視点のケアとの大きな違いといえる。

折茂氏によれば、近い将来、医療と介護の間でも共通用語としてICFステージングが使用されるようになり、よりスムーズな情報共有が可能になるとの事です。



経営移譲と同時に R4システムを導入



経営移譲と同時に行われた新システムの導入から1年半が経過した市川ゆうゆう。開設当初の導入率は約60%だった稼働率は、約1年半で95%まで上昇しました。この過程においても、情報共有の効率化は不可欠だったはず。

電子カルテとR4システムの導入にあたっては、課題も多かったとの事。キーボード操作の習得から始めなければならなかった職員も少なくはなかったそうです。しかし、それまで職種ごとに点在していた記録が電子カルテに集約され、誰もが館内のどこでも見る事ができるようになった事、R4システムによって専門用語ではなく共通用語を用いて多職種間でコミュニケーションを図る事ができるようになった事は、業務効率とケアの質の向上にとって大きく貢献したと考えられます。

アナログでも 「見える化」の工夫

市川ゆうゆうでは、R4システムの他にも、情報の共有と活用に取り組んでいる姿勢が随所に見られました。例えば、乗方法や適切な体位、食事介助時の注意点等を写真と共に記載したカードを作り、個々の利用者の車椅子の手押しハンドルに取り付けて、いつでも確認できる工夫がされていました。

施設を取材し、またお話しを伺って、日々共有すべき情報は何か、またそれをどこに集約する事が適切か、スタッフそれぞれによって熟慮された環境がつけられていると感じました。



注意点等を記載したカード

地域住民のために、 よりよいケアを目指す

市川ゆうゆうは、公的施設の運営を継続させる為の取り組みをしている公益社団法人地域医療振興協会が運営している施設です。

今回の取材では、自治体からの経営移譲を受け、地域で果たしてきた役割を引き継ぎ、更に機能を強化させる為に1年半の間、取り組んできた内容を伺いましたが、その中心となったのが、入所目的を明確化し、ケアの質と在宅復帰率の向上をはかるR4システムの導入であったと感じました。今後も市川ゆうゆうが地域包括ケアの拠点として機能する事を期待します。

お忙しい中、長時間の取材にご協力下さいました市川ゆうゆうのスタッフの皆様、ありがとうございました。



公益社団法人地域医療振興協会 ■ 介護老人保健施設 市川ゆうゆう

住所 千葉県市川市柏井町4-229-4 電話047-338-1910
開設 平成28年4月1日
定員 入所150名(内、認知症専門棟50名) 通所20名

研・修・会・報・告

ターミナルケア研修会

— エンド・オブ・ライフ・ケア研修会 —

平成29年7月14日、京葉銀行文化プラザにてターミナルケア研修会が開催されました。会員施設49施設から77名の参加で会場がいっぱいになるほどの参加人数となりました。講師には船橋二和病院地域連携センターの訪問看護認定看護師である佐々木ゆかり氏をお招きし講義いただきました。

講義は「エンド・オブ・ライフ・ケア」超高齢社会を迎えて」と題して、①エンド・オブ・ライフ・ケアを学び、日頃のケアの実践に生かす②誰もが経験する「老い」を真摯に考える③自分だったら、家族だったらと考える事を研修目的として始めました。



まず、年を重ねる「老い」ということについて考えるグループワークを通して、

老化による身体的機能の変化が日常生活にどんな影響をもたらすのか、高齢者の疾病にはどんな特徴が見られるのか、老年性症候群とはなにか説明があり「老い」に対する理解を深めました。

次にエンド・オブ・ライフ・ケアは「病いや老いなどにより、人が人生を終える時期に必要とされるケア」のことで子供も若年も高齢者も対象であること、患者（利用者）・家族・医療スタッフが死を意識したところから始まること、QOLを最後まで最大限に保ちその人にとって良い死を迎えられるようにすることを目標にすること、など定義・特徴について講義がありました。また、死を取り巻く社会状況の変化、疾病と死への軌跡、QOLの考え方などの解説があり、それをふまえて自身の施設でのエンド・オブ・ライフ・ケアについて振り返るグループワークを行いました。グループワークでは、それぞれの施設でのターミナルケアの取り組みの報告やターミナルケアを経験してきた中での「これでいいのかな」といったもやもやとした気持ちの話され、内容を共有することができました。

最後に「患者（利用者）・家族の意思決定を支えるために必要なこと」と題して、アドバンスケアプランニング（ACP）について定義・位置づけ・倫理原則・目的・効果などの説明を受け、私たちがエンド・オブ・ライフ・ケアを行う上で大切な視点を学びました。今回のターミナルケア研修はターミナルケアを行っていく上での患者（利用者）・家族の意思決定支援が中心の研修会となりました。

施設ケアマネジャー研修会

平成29年8月21日、千葉県教育会館研修室におきまして「施設ケアマネジャー研修会」が開催されました。会員施設68施設から86名の参加があり、熱気あふれる中での開催となりました。講師には株式会社チームウエルの代表取締役である遠藤恵子氏をお招きしてご講義いただきました。



講義は「利用者・家族の良き理解者となるために」と題して、利用者・家族や連携機関をつなぐ架け橋としての役割に必要とされる「質問力」と「発信力」を身につけることを目標として短時間のワークを中心に行われました。はじめに平成30年度に予定されている医療・介護同時改正について若干の説明があり、ケアマネジャーとして知っておくべき知識を学びました。

本題の講義ではまず「傾聴」について考えることから始めました。「傾聴」とは心を真っ白にして聴くことであると解説がありました。が、実際ワークに取り組んでみると心を真っ白にして聴くことがいかに難しく、聴くことを阻んでし



まうものが、「さだらう」という思い込みや推測「自分の興味があることだけ聞こえる」「自分自身の話や体験を話したくなる」事であることを参加者一同体感しました。

その他にも日々の業務を上手に乗り切るために、逆境や困難・強いストレスに直面した時に適応する精神力¹、「レジリエンス」についてや自分のスキーマ（考え方の癖）を犬にたとえた「思い込み犬」への対処の方法など施設ケアマネジャーとしてだけでなく、相談業務を行う人にとって必要な多くの事を学ぶことができました。すぐに実践できることも多くあり、参加者の方々にとって得るものが多かった研修になったと思います。

武士道と犬道

ほうゆう苑

施設長 吉井功



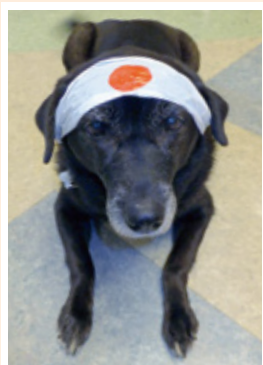
わが家のすぐ近くの市立中学校の横断幕に、「祝・創立70周年記念校訓―自主・寛容・錬磨」とあります。70年前といえば昭和22年、吉田茂首相のときで、新憲法と6・3・3・制がスタートした年です。まだ戦災の焼け跡が残っている時期に、この中学校は武士道を教えて新制中学校の門出を祝ったのかと、感無量になりました。

ハーバード大学で東アジア文明を教えているデビット・ハウエル教授によると、学生が一番人気は「忠臣蔵」の赤穂事件だそうです。四十七士の義挙は、不法行為であり切腹はキリストの教えに背きますが、「大義のためにすべてを犠牲にする武士らしい行動」と、学生に非常に感銘を与えるそうです。また同大学の日本史研究のエズラ・ヴォーゲル名誉教授は、戦後日本の奇跡的復興は、政・官・民各層の指導者が、「経済発展で得た富は、全国民

に分配されるべきだ」と考えたことにあるそうです。松下幸之助や本田宗一郎などの経営者が見事にこれに応じたのです。敗戦直後の日本のリーダーは、江戸時代の武士の精神を持つサムライそのままだったのです。

日本伝統の武士道精神とは何でしょうか。

それは、「大義、自主鍛錬、献身、品格、いさぎよさ、平静の心、フェアプレー精神、敢行、敗者への思いやり」にあります。世界的名著「BUSHI DO」の著者でお札にもなった新渡戸稲造は、「武士道はその象徴とする桜花のごとく、四方の風に散りたる後、その香気をもつて人生を豊かにし、人類を祝福するであらう」とその意義を美しく述べています。



〔敗者への思いやり〕があります。武士道ならぬ「犬道」の鑑と思います。

わが苑の愛犬ラブは、ときに大きく吠えます〔敢行〕が、いつも穏やかに〔平静の心〕、みんなを癒してくれます〔献身〕。弱者をいたわり慰める心

Information

映画上映会&監督トークショー

映画『つむぐもの』



日時 平成29年11月11日(土)

受付13時30分

開始14時~17時

会場 千葉市ハーモニープラザ内

千葉市男女共同参画センターイベントホール

千葉市中央区千葉寺町1208-2

※駐車場が少ないので公共交通機関をご利用ください。

参加費 無料

定員 200名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

お問い合わせ

一般社団法人

千葉県老人保健施設協会事務局

電話 043(256)8420

申込み

ホームページの参加申込書をダウンロードして

FAXにて11月4日(土)まで送信をお願い致します。

ホームページアドレス

<http://www.chiharoken.jp/>

<http://www.chiharoken.jp/>

FAX 043(256)8420

FAX 043(256)8420

FAX 043(256)8420

是非、ご参加ください。お待ちしております！

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL. 048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

たのしいはな スマイル

明るく! 元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ はさま徳洲苑

平成24年5月に千葉徳洲会病院を母体とし開設、今年で6年目を迎えました。

ご利用者様・ご家族様に安心してお過ごしいただけるよう、心身の自立支援を致します。

行事にも力を入れており、ご利用者様の笑顔の為に職員一丸となって企画・運営をしております。

住 所：船橋市飯山満町2-685-3
電 話：047-401-5161
開設日：平成24年5月1日
入 所：100名
通 所：20名



季節に合わせた行事やレクリエーションを行い、日々をいきいきと過ごして頂けるように努めています。



●はさま徳洲苑
介護職員 塚本泰子

■ 辰巳ナーシング・ヴィラ

開設20周年を迎え、職員一同「目配り・手配り・心配り」をモットーに業務に励んでいます。

利用者様一人一人が「できる喜び」を沢山感じ、笑顔いっぱい時間を過ごして頂けるよう、各分野のエキスパートがその方に合った支援、サービスを提供しています。

住 所：市原市辰巳台東5-5-1
電 話：0436-74-1311
開設日：平成9年7月31日
入 所：50名
通 所：30名



一人一人の利用者様の気持ちに寄り添いながら、その方たちの笑顔を励みに日々努めていきたいと思えます。



●辰巳ナーシング・ヴィラ
介護主任 山本由紀子



老健ちばカレンダー

- 11月 11日(土) ●映画上映会「つむぐもの」(千葉市男女共同参画センター)
- 21日(火) ●老人保健施設におけるリハビリテーション栄養のあり方(千葉市生涯学習センター)
- 12月 5日(火) ●認知症研修会(ホテルポートプラザちば)
- 15日(金) ●研究事例発表大会(京葉銀行文化プラザ)

- 平成30年
- 1月 22日(月) ●管理者研修会(京葉銀行文化プラザ)
- 2月 1日(木) ●マスター・技術研修会(ホテルポートプラザちば)

●編集後記

- 過ごしやすい季節ですね。趣味を思いっきり楽しもうと計画しています。食欲は秋に限らず常にモリモリですが、美味しいものを食べながら、こちらも通年ですお酒もぐいぐい楽しめますよ～(^ω^)_U(若林)
- 今回、市川ゆうゆう様で折茂先生のR4システムについてお話しが聞けました。ICFステージングの考え方(「次のステージに上がる為にどのようなケアをすれば良いのかな～?」というポジティブなイメージを持つ事)はとても素晴らしいと感じました。近い将来、導入しようと思えます。(ω・ω)/(福田)
- 相変わらず介護人材不足は深刻です。先日、介護員が集まらず、フルオープンできなかった近くの社会福祉法人が民事再生法を申請しました。今後の介護は、外国人? 高校生? シニア? それともロボット? かなあ(σ´)(坂本)
- 大山千枝田の案山子作りに参加しました。一夜漬けでパーツを作り、当日、見よう見まねでやっどで完成。名前は「ブルゾン棚田」目指せ入賞(^x^)/(佐々木)

- 今年の10月で我が施設が20周年を迎えるのに伴い、記念行事の準備に追われております。私の担当はスライド作成で施設中の写真をチェックしているのですが、若いころの写真を発見しては懐かしんでいるため作業がはかどりませんo(∩_∩)o(河野)
- 9月16、17日に「やわたんまち」(八幡の祭り)が行われました。次は南総里見まつりです。また、11月4日には館山で初めての介護フェスタを計画していますo(´▽´)O(神作)
- 来年4月から医療介護報酬の同時改定がスタートします。今後、その内容も徐々に明らかになり新しい加算も新設されるでしょう。しかし、毎回決まってる基本報酬のマイナスは避けられない事は確実です。加えて昨今の介護スタッフ不足と施設運営を取り巻く環境の問題は山積しています(△_△)(齋藤)

